



小林 秀彦  
(日本共産党)

## 米1俵7千円の 内金について

**質問** 全農は本年度の米代金の支払いを内金と追加金の2段階払いとし、内金として1俵7千円とした。農家からは資材代や資金の返済ができないなどの声があがってきている。こうした状況に対して、市としての対策をお聞きする。

**答弁** 全農全国本部では、市場での民間業者による低価格販売防止と、販売価格と仮渡金の逆ざや発生防止を図るため、仮渡金方式から概算金方式に変えた。しかし、発表された今年の内金は7千円と昨年の仮渡金と比較すると5350円も引き下げられ、農家に与える影響は多大で、集荷量の減少や営農意欲の減退につながるのではないかと心配される。また、県内の反発を受け、今後、全農あきたでは独自の上乗せをし、内金の額を決めると伺っている。その動向を見守りたいと考えている。  
(その後、全農あきたでは概算金を1万5000円に決定)

## イオン出店について

**質問** イオン出店に関する市民説明会での市側の答弁は、市民を納得させる内容とはほど遠いものであった。席上、市民から公開討論会の開催が要望され、市の出席が求められたが、その後市長は辞退するとしたが責任逃れではないか。

**答弁** 市としては、これまでに十分に説明責任を果たしてきたと考えており、公開討論会への出席を辞退した。イオン出店計画については、これまで市議会を初め、能代商工会議所や二ツ井町商工会、能代まちづくり市民会議、東能代地域まちづくり連絡協議会に対して説明を行っているほか、市議会の意向や能代まちづくり市民会議からの要望を受けて、広く市民を対象とした市民説明会を開催し、多くの市民の参加があった。説明会においては、市がイオン出店を容認した考え方についてできるだけの説明を行い、これに係る質問に誠実に答えている。

### 小林議員のその他の質問事項

。能代産業廃棄物処理センター  
。能代港における汚染土壌の試験的な荷揚げ



渡辺 優子  
(公明党)

## 駐車場のマタニティ マーク設置

**質問** 子供を産み育てやすい環境づくりのために、駐車場の身障者用スペースにマタニティマークを設置し、妊産婦も止められるようにすべき。また、マタニティマークのステッカー、キーホルダー等のグッズを作成し、無料で配布すべきでは。

**答弁** 妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保の課題達成に向け、地域全体で、妊産婦に対して理解ある地域環境や職場環境づくりに取り組むことは重要であると考えている。身障者用スペースにマタニティマークを設置することについては、身体障害者用駐車スペースは、バリアフリー新法により妊産婦の併用も定められているので、その周知に努めていく。マタニティマークグッズの配布については、厚生労働省ホームページよりダウンロードしたマークを使用できるように、ラミネート加工し、母子手帳交付の際に希望する妊婦に配布したいと考えている。

## 学校図書館の 図書整備

**質問** 子供の読書活動の推進に関する法律の中に、学校図書館の充実を含む子供の読書環境の整備が明文化されている。国の地方財政措置を利用し、学校図書館図書標準の達成を目指すべき。

**答弁** 学級数に応じた図書冊数の標準が学校図書館図書標準として示されている。この図書標準を100として達成率を見ると、18年度末現在で、100%以上が3校、75%以上100%未満が11校、50%以上75%未満が6校、50%未満が4校である。県内他市町村との比較では、整備状況が特に本市だけが低いというわけではないが、まだ満足できる状況ではない。読書環境の整備は、たいへん重要な教育課題であり、教育委員会としても指導の重点に掲げ、各小中学校において特色ある実践が生まれ、読書活動が充実するよう、情報交換を促し、価値ある実践についての情報提供を行うなど努力していきたい。

### 渡辺議員のその他の質問事項

。バイオマス事業